



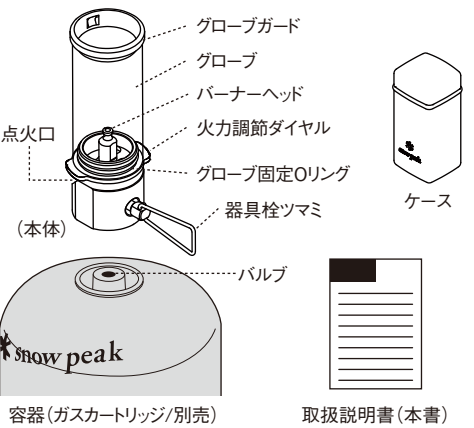
この製品はアウトドア用に開発された屋外専用のガスランブです。室内、車内、テント等では使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠による窒息死の恐れがあります。屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。使用中または使用直後は器具が熱くなっていますので火傷には十分注意してください。また、お様が手をふれないようにご注意ください。

この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品はアウトドア用に開発された屋外専用のガスランブです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストにより、バーナーヘッド、グローブガード、着火口などが若干変色していますことがご了承ください。

※取扱説明書(本書)では、各操作の明解な図示の為に、グローブの柄等を省略しております。


本取扱説明書における警告と注意について	
	警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。
	注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。


セツト内容(各部の名称)



スペック		
材 質	アルミニウム合金、プラスチック、ゴム、ガラス、ステンレス鋼	
サ イ ズ	42×40×105 (h)mm	
重 量	102g	
ガス消費量	7g/h	
専用容器	GP-110GR / GP-250GR / GP-500GR GP-110SR / GP-250SR / GP-500SR	


- ガス消費量および出力は当社試験室にて測定、算出したものです。
- 容器は上の表の、SNOWPEAK専用容器のみをお使いください。

容器の取り付け方	
	警告 取り付けの前には必ず器具栓の取り付けネジ部(カートリッジとの接続部)及びOリングの異常がないか確認してください。異常が認められたときは容器を取り付けしないでください。

	注意 容器の取り付け、取り外しの際は少量のガスが漏れる事があります。火気のある所や、換気の悪いところでは容器の脱着をしないでください。
--	--

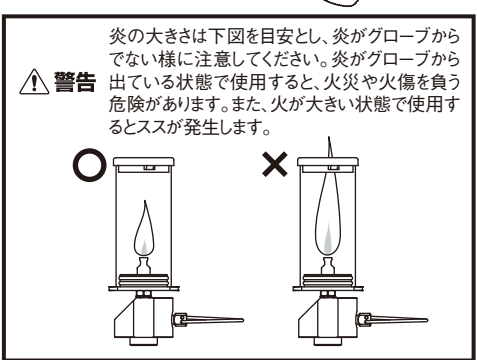
①器具栓ツマミを正面から見て時計まわりに回し、器具栓を完全に閉めてください。

②容器を水平にし、容器ネジ部と器具のネジ部の軸線を含わせ、容器下方から見て時計まわりに、滑らかにねじ込み、自然に止まるよりややきつ目にしめてください。接続部分からガスが漏れていないことをシュという音や臭い等で確認してください。

操作の仕方	
	警告 着火の際は、器具の上にかがみ込まないでください。不意に火傷を負う危険があります。

①点火方法
前もってマッチやライターの火をつけ、着火口に近づけておきます。器具栓ツマミを正面から見て反時計まわり(着火口方向からみると時計まわり)に回して点火してください。一度で点火できない時は、器具栓ツマミを一旦閉じてからやり直してください。

②光量の調節方法
火力調整ダイヤルを上面からみて反時計まわりに回すと炎が大きくなり、時計まわりに回すと炎が小さくなります。



③消化方法
器具栓ツマミを時計まわりに回し、完全に火が消えたことを確認してください。


容器の取り外しかた

- ①火が確実に消え、器具が十分に冷めていることを確認してください。
- ②容器を水平にし、取り付け時は反対の方向に容器を回して取り外してください。

収納のしかた (器具栓ツマミのたみ方)

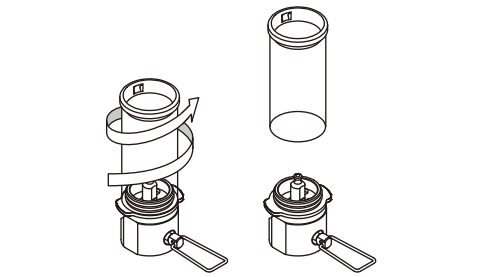
①器具栓ツマミが水平になる位置まで回転させます。


②器具栓ツマミをグローブの方向へ折りたたみ、収納ケースに入れます。ツマミは不意に勢いよく戻る事があるので、十分に注意してください。

	注意 器具を容器に取り付ける時は、器具栓ツマミを時計まわりに回し、必ず器具栓を完全に閉めてください。
---	---

グローブの着脱方法

グローブは、グローブ固定Oリングに圧入する事で固定されています。グローブを取り外す際は、無理に真上に引っ張らずに、少し回しながら徐々に取り外してください。また、グローブを取り付ける時も同様に、少し回しながら徐々に取り付けてください。



	注意 無理に真上に引っ張ったり、真上から押し込んだりするとグローブが破損する恐れがあります。グローブにヒビや穴けを発見した場合は、無理にグローブを取り外そうとせずお買い求めいただきました販売店様または弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。
---	--

使用上の注意

ガス漏れのあるもの、衝撃を受けたもの、正しく作動しなくなったものは使用せず、お買い求めいただきました販売店様または弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。

- 1.照明以外の目的で使用しないでください。
- 2.燃えやすい物から上方1m以上、周囲30cm以上離してご使用ください。
- 3.水平で安定した場所でご使用ください。

- 4.使用前に器具栓等にゴミ、ホコリ等が付着していないことを確認してください。目詰まりの原因になります。
- 5.使用中は時々燃焼状態が正常かどうかを確認してください。
- 6.気温や容器の温度によりガス圧が変化し、燃焼具合(炎の大きさ、形)が変わります。
- 7.ガスカートリッジは、高温にすると破裂の危険があるため、直射日光のあたる所や火気の近くなど、温度が40℃以上となる所では保管しないでください。また、お子様の手の届かない所に保管してください。
- 8.使用中は風等で火が消える場合がありますので、その場を離れないでください。
- 9.使用中に異常燃焼が起こった場合はすみやかに火を消して使用を中止し、お買い求めいただきました販売店が弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。
- 10.炎のあたる部分や、近い部分は熱により金属が焼けて変色しますが使用上問題はありません。
- 11.使用中や使用直後の熱くなったグローブに雨等があたると、グローブがびび割れをおこしますので、雨水等が当たらない様に注意してください。
- 12.本製品の付属品あるいは指定されたもの以外は使用しないでください。
- 13.使用中や使用後は器具が高温になります。火傷の恐れがありますので直接触れないでください。
- 14.本製品を濡れたままにしないでください。サビの発生の原因となります。
- 15.使用後は本体に付着した汚れを落とさない様に注意してください。いつも清潔に保ってください。燃焼部に虫の死骸やゴミ等がありますと本来の性能が出なかったり、異常燃焼の原因となります。

点検・手入れのしかた

使用前、使用後の点検・手入れは必ず行ってください。

- 1.使用前にガスカートリッジとの接合部のシジ、Oリングに異常がないか必ず確認してください。破損や摩耗がある場合は、お買い求めいただきました販売店様または弊社ユーザーサービスまで修理をご依頼ください。
- 2.器具栓ツマミを時計方向に回してガスが完全に遮断するか確認してください。
- 3.グローブにヒビ、割れがないか点火の前に確認してください。そのまま点火すると使用中にグローブが破損し危険です。
- 4.バーナーヘッドが汚れたら布などで拭いて掃除をしてください。その際、バーナーヘッドの内部にゴミ、ホコリが入らない様に注意してください。
- 5.グローブにススが付着した場合は硬く絞った布で拭きとり、速やかに乾燥させてください。

故障・異常の見分け方と処置のしかた

原 因	専用容器を使用していない	専用容器のネジの異常	器具栓の故障	器具栓の取り付け不良	スピンドルの異常	容器の異常	バーナー部の目詰まり	ノズルの目詰まり	ガスの温度が高く
専用容器が取り付けられない	✓	✓	✓						
ガスが漏れる				✓	✓	✓			
点火しない				✓	✓	✓	✓	✓	
火力が弱い						✓	✓	✓	
炎が不揃い							✓	✓	
使用中に消える						✓	✓	✓	
消火しない			✓		✓				✓
処 置 方 法	スノーピーク専用容器を使用する	新しい容器と交換する	点検・修理を依頼する	点検・修理を依頼する	点検・修理を依頼する	新しい容器と交換する	汚れをおおきく布で掃除し、洗剤をすすぎ、乾燥させる	点検・修理を依頼する	容器を適温のものに交換する

- 上記の内容をご確認頂き、なお異常のあるときやお分かりにならないことがあった場合は、お求めの販売店様または弊社にご相談ください。
- 消火しない場合は周囲の安全を確認し、ガスがなくなるまで燃焼させてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期しますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店様または弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。




- 1.取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
- 2.素材の経年劣化による製品の寿命。
- 3.改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
- 4.不測の事故による製品の故障。
- 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
- 6.ゴミやサビによる故障。
- 7.分解したことによる不具合の発生または破損。
- 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
- 9.消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
- 10.他社製品との組合せによる故障。

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。 スノーピークユーザーサービス  0120-010-660 (9:00～17:00) Email:userservice@snowpeak.co.jp
--

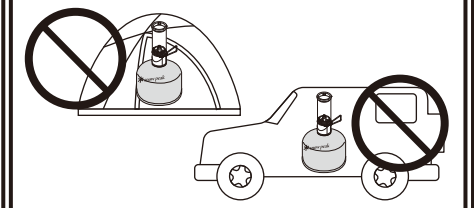
株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN KOREA

スノーピークガス器具・容器をご使用になるための
重要注意事項が説明されています。
よくお読みください。そして大切に保管してください。

ご使用の前に	
よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。 本取扱説明書における警告と注意について	
	危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。
	警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。
	注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

危険
●テントの中や車中、屋内では絶対に使用しないでください。本製品は屋外専用です。屋内やテントの中、車内などでは絶対に使用しないでください。酸欠や有毒ガスにより死亡あるいは、重篤な中毒になる恐れがあります。本製品は屋外専用で設計されています。使用中は酸素を大量に消費します。限られた空間での使用は酸欠、一酸化炭素中毒になることがありまた火災の危険もあります。



●本製品にはsnowpeak指定専用ガスカートリッジをご使用ください。snowpeak製のガスカートリッジは本製品の性能が最大限に発揮できるように作られています。それ以外のガスカートリッジは使用しないでください。またsnowpeak製のガスカートリッジであっても使用できるガスカートリッジが定められています。指定専用ガスカートリッジは次の項目をご覧ください。

指定専用ガスカートリッジ	
●GP-250GR / GP-110GR GP-500GR ●GP-250SR / GP-110SR GP-500SR	

指定外のガスカートリッジの使用は、製品保証と修理を受けられませんので、ご注意ください。



【理 由】指定以外のガスカートリッジはバルブ形状、ノズルの太さなど規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。

- お客様による修理や改造は絶対にしないでください。

【理 由】本製品やガスカートリッジは精密に作られています。改造は性能低下になるばかりか不完全燃焼やガス漏れの原因になることがあります。修理に関しては、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係へお問い合わせください。

- 点火する前にはガスが漏れていないことを必ず確認してください。

【理 由】器具栓ツマミが確実に閉じているか確認してからガス缶を取り付けてください。また、ガス缶取り付け後に各接続部よりガス漏れがないことを確認してから点火してください。ガス漏れをしている状態で点火すると、異常燃焼による火傷、あるいは中毒症状になったりすることがあります。少しでも異常を感じた場合は、直ちにご使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係までご相談ください。ガスが漏れている状態では絶対に点火しないでください。

- ガスカートリッジのガスを故意に吸い込まないでください。
【理 由】故意にガスを吸い込むと酸欠のため窒息死します。絶対にしないでください。
- ガスカートリッジの再充填は絶対にしないでください。
【理 由】専用ガスカートリッジは繰返し充填するように設計されていません。絶対にしないでください。

警告	
●本製品やガスカートリッジを40度以上の砂浜や川原の石の上、金属面、舗装路面上では、使用および放置・保管をしないでください。 	

【理 由】直射日光を受けた砂浜や川原の石、金属面、舗装路面上は外気温より高温になっています。その上にガスカートリッジを放置したり、本製品を使用するとガスカートリッジが過熱され内圧が急激に上昇し異常燃焼をしたり爆発することがあります。

- ガスカートリッジを接続する前には必ず器具栓ツマミを時計回転方向に回し、器具栓ツマミが閉じていることを確認してください。
【理 由】収納時や運搬時に器具栓ツマミが開いてしまうことがあります。

- ガスカートリッジの着脱は垂直に立てた状態で行ってください。
【理 由】新しい状態のガスカートリッジは液状のガスが上部まで入っています。斜めに傾いた状態で取り付けると液状のガスが勢いよく噴出することがあり大変危険です。周辺に火気がないことを確かめ、垂直に立てて装着してください。接続するネジは大変重要な部分です。斜めにねじ込むとガス漏れの原因になります。

- カートリッジジョイントのOリング(消耗品)はご使用の都度点検してください。摩耗や損傷があるときは直ちに使用を中止し、ご購入いただきました販売店もしくは弊社ユーザーサービス係までご相談ください。
【理 由】容器の取り付け、取り外しでOリングが摩耗します。また、ゴム製のOリングは使用しなくても劣化します。劣化したリ損傷したOリングを使用するとガス漏れの原因となります。

- 燃えやすいものから上は1m以上、周囲30cm以上離してご使用ください。
【理 由】風向きにより炎の熱は横方向や下方に流れます。上方には強く伝わりますので火災にならないように燃えやすいものは十分な距離を保ってください。

- 水平で安定した場所に設置してお使いください。
【理 由】傾斜していたり不安定な状態で使用すると、転倒し火傷や火災の危険があります。

- 照明以外の目的に使用しないでください。
【理 由】暖房や衣類の乾燥など調理以外の使用は、火災や火傷、酸欠など思わぬ事故につながる場合があります。

- 使用後は点検・清掃をして、本製品をケースに入れ保管してください。

- 爆発等の危険がありますのでガスカートリッジは完全に使い終わってから他のゴミと区分して捨ててください。また、長時間本製品を使わないときはガスカートリッジを取出してください。本製品は付属の収納ケースに入れ、ガスカートリッジにはキャップを取付けて保管してください。

【理 由】ガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。

- 空のガスカートリッジでも火の中に投じたり他の熱源のそばに置かないでください。

【理 由】空になったガスカートリッジでも、微量のガスが残っています。火の中に投じたり他の熱源のそばに置くと同圧が上昇し爆発することがあります。

- 炎がグローブから出ない様にしてください。
【理 由】炎がグローブから出ていると、火災や火傷を負う危険があります。



- 使用中は本体のそばから離れたり、目を離さないでください。

【理 由】使用中は立ち消えや延焼などの危険性があり、火災などの思わぬ事故の原因となります。火が消えていないか時々確認してください。一時的な用事であっても、離れる場合は必ず火を消してください。

- 着火の際は、器具の上にかがみ込まないでください。不意に火傷を負う危険があります。

【理 由】大きな炎が上がり火傷の危険があります。

- 本製品以外の風防や天ぶらガード、石などで本製品を囲まないでください。

【理 由】本製品以外の風防や天ぶらガード、石などで囲むと容器が異常に熱を吸収してしまいます。異常に温度が上昇して爆発の危険がありますので絶対にしないでください。

- ヒーターや焚火など、他の熱源があるところでは使用しないでください。

【理 由】他の熱源によりガスカートリッジが異常加熱し、ガスカートリッジの内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。

- 火がついたまま傾けたり振ったり、持ち運ばないでください。
【理 由】風等で炎が流れたり、炎が急に大きくなるなどで火傷を負う危険があります。

- お子様の手の届かないところに保管してください。
【理 由】お子様に危険が及ばないように、本製品やガスカートリッジはお子様の手の届かないところに保管してください。

- 落下やその他の衝撃を与えないでください。
【理 由】変形や破損による不具合が発生する事があります。

- 光源を直接見ないでください。
【理 由】目を傷めることがあります。

	注意
---	-----------

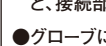
- ガスカートリッジはご使用前は必ず点検してください。
【理 由】又ガスカートリッジは保管中も時々点検してください。ガスが封入されているため、外観のキズ・ヘコミ、サビなどが発生しているとガス漏れなどの危険がありますので使わないでください。

- 使用後は点検・清掃をして、本製品をケースに入れ保管してください。
【理 由】本製品に付着した水分やホコリ、ゴミが目詰まりやサビを起こし故障の原因となります。次回問題が出ない様に点検・清掃をしてください。

- ガスカートリッジは航空機に持ち込めません。
【理 由】法律により、カートリッジを航空機に持ち込むことはできません。

- 本体及び各部分は、使用中及び使用後しばらくは大変熱くなります。
【理 由】火傷等にご注意してご使用ください。

- ガスカートリッジの取り付け、取り外しの際は少量のガスが漏れる事があります。火気のある所や、換気の悪いところではガスカートリッジの着脱をしないでください。
- 無理にガスカートリッジを取り付けたり取り外したりすると、接続部分が破損します。
- グローブに施してある絵柄を金属等で強くこすると、絵柄が剥がれる場合がございます。

	注意
---	-----------

株式会社スノーピーク
〒955-0147 新潟県三条市中野原456
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

This gas lamp has been developed for the outdoors and should be used outside. Do not use indoors, in vehicles, or in tents, as there is a danger of carbon monoxide poisoning. When using the lamp outside in confined spaces, ensure that there is sufficient ventilation. While the lamp is in use and immediately after use, the unit will be hot. Take care not to be burned. Store in a place that is out of reach of children.

Thank you for purchasing this Snow Peak product. This gas lamp has been developed for the outdoors and should be used in the outdoors. For long-term safe use, read manual before using the lamp. Also, store manual in a safe place after reading. If you have any questions or cannot understand what is written in the manual, contact Snow Peak before use. All Snow Peak's burning appliances are tested by igniting them before shipping. Be aware that there may be some fire marks or other discoloration on the burner head, globe guard or ignition port.

Warnings and Precautions in This Manual

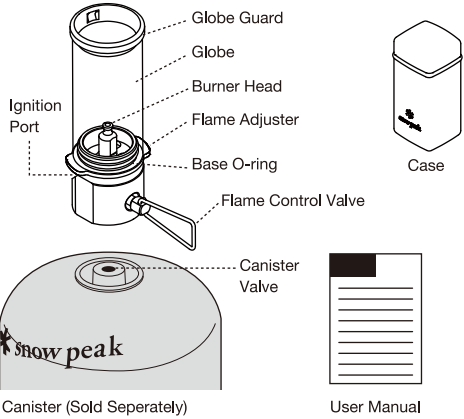
Warning

Failure to follow all warnings can result in serious injury or death.

Caution

Failure to follow all instructions can result in property damage or serious injury.

What is Included (names of each part)



Specifications

Material	Aluminum, brass, rubber, glass, stainless steel
Size	42 x 40 x (h)105mm
Weight	102g
Consumption	7 grams/hour
Fuel	GP-110GR / GP-250GR / GP-500GR GP-110SR / GP-250SR / GP-500SR

- Fuel Consumption and burn time was tested and calculated in our laboratory
- This product can only be used with Snow Peak's fuel.

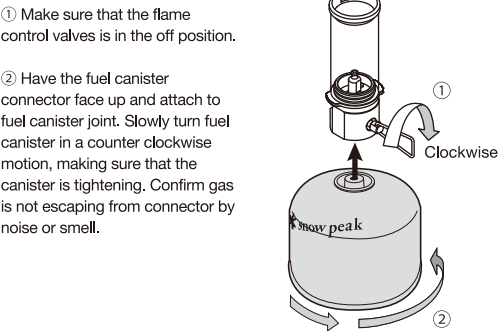
Installing Fuel Canister

Warning

Before installing, please confirm that there are no abnormalities the valve, canister, lamp (connector with canister), or O ring. If you find any abnormalities, do not installing fuel.

Precaution

When installing and removing canister, there will be some gas that escapes. Only install or remove canister in a well-ventilated area, as there is a chance of fire.



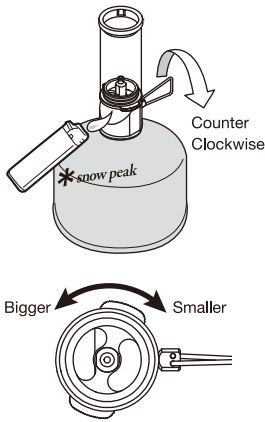
Operation

Warning

DO NOT hunch over lantern when ignition It can cause burn injury.

1. Igniting the lantern

Light lighter or match beforehand and put it closer to Ignition Port. Turn Flame Valve counter clockwise (left) when looking directly at the control. Turn Flame Valve clockwise (right) when you see the control from Ignition Port. If the unit does not light, turn off the gas once before trying again.

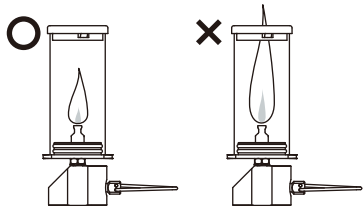


2. Flame Adjusting (changing brightness)

To make flame bigger, turn the Flame Adjuster dial counter clockwise when you see the dial from top. To make flame smaller, turn the dial clockwise.

Warning

Control the size of flame as figure below. DO NOT let flame poke out of globe. Flame bigger than globe can cause fire or burn injury. Bigger flames generate soot.



3. Extinguishing the Flame

Slowly turn Flame Control Valve clockwise (right) until the flame disappears. Make sure that the flame has completely gone out.

Removing Canister

1. Make sure that the flame has completely gone out and lamp has cooled off enough.
2. Put canister and lantern on a level plane. When looking at the fuel canister from above, turn clockwise to remove.

Storage

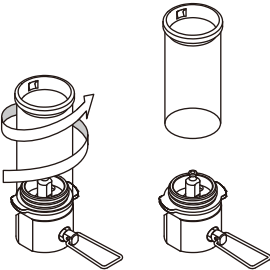
- ① Turn the Flame Control Valve until it becomes horizontal.
- ② Fold down the Flame Control Valve towards globe, and put the lamp into case. Please be careful as the valve may turn back suddenly.

Precaution

Make sure that the Flame Control Valve is in the off position when attaching the lamp to canister.

Removing and Installing Globe

The globe is locked by press fitting it into the lens base O-ring. To remove, slowly turning globe instead forcibly pulling upwards. When installing the globe, install it by the same way; slowly turns downward.



Precaution

The globe may break if it is pulled upwards forcibly. Contact Snow Peak dealer for repairing if you find a crack or chip instead of removing the globe.

Precautions when using the lamp

Never use a lamp that leaks gas, had had damage upon it, or does not work properly.

1. Do not use other than for its intended use of lighting.
2. Do not use within 1m upward and 30cm around of the flammable stuffs.
3. Use only at the place where is stable and level with the ground.
4. Before using, make sure that there is no dust or particles in the fuel canister.
5. While using, frequently confirm that burning condition of flame is

- normal.
6. The flame condition (how the flame will look or heat power) will differ according to outside temperature and temperature of the fuel canister.
 7. Do not store gas canisters on hot (over 104°F) places. Otherwise it may lead to explosion of fuel canisters. Also, store in a place that is out of reach of children.
 8. Strong wind can cause the lamp going out. Always keep close watch of lamp when in use.
 9. If abnormal combustion occurs, immediately extinguish flame and stop using.
 10. Metal areas that come into contact with the flame or are near it will scorch and change color.
 11. If rain hits the globe while using or immediately after use, globe may cause cracks. Pay careful attention to not let the globe get wet.
 12. Do not use except for accessories of this lamp or products designated
 13. While the lamp is in use and immediately after use, the unit will be hot. Do not touch to avoid getting burned.
 14. Do not keep this product wet. It may cause rust.
 15. Remove soils from product after use. In particular, keep the burner head clean. If there are some dusts at the burner head, this can lead to malfunction or abnormal combustion.

Inspection and care

Carry out routine periodic inspections and care before and after every use

1. Before every use, make sure that there are no abnormalities at the bolt of connecting parts with fuel canister and O ring. If there is a malfunction, contact Snow Peak.
2. Turn the flame control valve clockwise and confirm the gas is completely cut off.
3. Before use, confirm that there are no cracks at the globe. It is dangerous, as the lamp will break if it used with cracks.
4. If burner head gets dirty, use clean cloth to clean it. Pay attention for dusts do not go into the burner head.
5. In case soot sticks to the globe, wipe with a damp cloth, then dry lamp immediately.

Troubleshooting

Causes	Symptoms						
	Use of Non-approved Fuel Canister	Damaged Fuel Canister Thread	Damaged Collar Assembly	Improper Mounting of Fuel Canister	Defective Spindle	Defective Fuel Canister	Clogged Burner Head
Fuel Canister does not mounted correctly	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Gas Leakage			✓	✓	✓	✓	✓
Lamp will not ignite					✓	✓	✓
Low heat output					✓	✓	✓
Uneven flame					✓	✓	✓
Flame extinguishes during operation					✓	✓	✓
Flame does not extinguish		✓	✓	✓	✓	✓	✓
How to solve the problem	Use designated Snow Peak fuel canister	Replace the fuel canister with a new one	Request Inspection and repair	Make sure that the fuel canister is mounted correctly	Request Inspection and repair	Replace the fuel canister with a new one	Wipe carefully with a piece of cloth to avoid leakage to avoid leakage
							Exchange the canister with a new one at normal temperature

Please check through the above symptoms and causes, and if malfunctions persist or the cause is not clear, contact the retailer where you purchased the product or Snow Peak. In case flame does not extinguish, keep burning until gas runs out after confirm the safety around.

Warranty

Snow Peak guarantees its products against manufacturer defects. We have made every effort to insure our products are free from any defect or flaws. In the rare event that you feel this product has a defect or needs repair please contact the Snow Peak customer service or go to your local Snow Peak dealer where you purchased this product. Snow Peak will replace or repair any defect that may have been caused due to manufacturing. Snow Peak will not be able to replace this product if any damages occurred due to any of the following:

1. Material quality has changed due to aging of product.
2. Damage by altering or careless handling.
3. Damaged due to improper handling which is prohibited as shown in instruction.
4. Product failure due to user accidents.
5. Any damage except with product defects due to manufacturing.
6. Damage by dirt and rust.
7. Damage by dismantling.
8. Deformation and failure of parts damaged by dropping or other similar incidents.
9. Product failure due to wear and tear by user.
10. Damage caused by improper use with other products.

WARNING

This product can expose you to chemicals including lead, which is known to the State of California to cause Cancer and birth defects or other Reproductive Harm. For more information go to www.P65Warnings.ca.gov.

This page contains important preconditions concerning the use of Snow Peak gas appliances and fuel canisters. Read them carefully and keep this page in a safe place for future reference.

Before Use

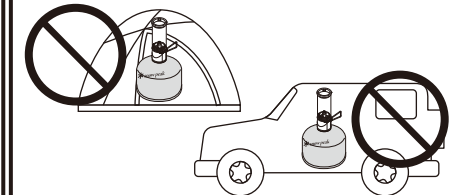
Read carefully and avoid the accidents that are posted by using the units safely.

A note on the warnings and precautions in this manual:

<div><div></div><div>Danger</div></div>	Could easily result in a serious accident or death.
<div><div></div><div>Warning</div></div>	Misuse could result in serious injury or death to the user.
<div><div></div><div>Precaution</div></div>	Misuse could result in injury or damage to property.

Danger

Do not use indoors, in vehicles or in tents. This lamp is for outdoors. Never use indoors, in vehicles or in tents. There is a chance to death from asphyxiation or serious poisoning from toxic gases. This lamp has been developed for the outdoors. While in use, the lamp consumes an enormous amount of oxygen. When using in a small space, there is danger of lack of oxygen, carbon monoxide poisoning, or a fire.



- Use this lamp with only Snow Peak designated fuel canisters. Snow Peak has designated specific fuel canisters to have the maximum efficiency for all of their products. Do not use other fuel canisters. Also, make sure that you are using the correct fuel canister for the product that you are using. The canisters that are acceptable for use are listed below.
[Reason]
Other fuel canisters differ in standards such as valve configuration and nozzle thickness. This basic design difference may result in gas leaks and could lead to combustion, fire, or abnormal burning from burner.

Approved Fuel Canisters

- GP-250GR / GP-110GR / GP-500GR
- GP-250SR / GP-110SR / GP-500SR



Please note, that if canisters that were not specified are used, servicing of unit and use of manufacturer warranty will not be accepted.



- Never try to repair or modify the product on your own.
[Reason]
Lamps and fuel canisters are manufactured with precision. Modification may result in poor performance or can lead to incomplete combustion and gas leaks.

Contact dealer where you purchased the product or Snow Peak customer service if repairs are needed.

- Before lighting the lamp inspect to see if there is any gas leaking.
[Reason]
Make sure that the flame control valve is completely shut before attaching the fuel canister. After attaching, make sure that there is no gas leaking. If igniting the lamp during a gas leak, there is chance of injury from abnormal burning or poisoning from toxic fumes. If you feel anything is abnormal, stop using the lamp and contact the dealer where you purchased the product or Snow Peak customer service. Do not ignite when gas is leaking.

Make sure that the flame control valve is completely shut before attaching the fuel canister. After attaching, make sure that there is no gas leaking. If igniting the lamp during a gas leak, there is chance of injury from abnormal burning or poisoning from toxic fumes. If you feel anything is abnormal, stop using the lamp and contact the dealer where you purchased the product or Snow Peak customer service. Do not ignite when gas is leaking.

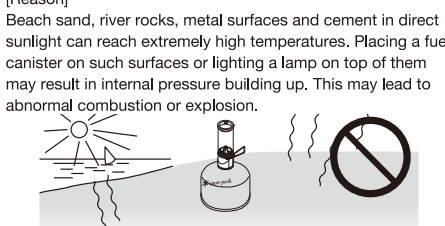
- Do not refill the fuel canisters
[Reason]
Snow Peak fuel canisters are not made to be refilled over and over again. Never refill the canisters.

- Do not intentionally inhale gas from the fuel canister.
[Reason]
You may die from lack of oxygen if you intentionally inhale gas. Never inhale gas from the canister.



Warning

- Do not use, place or store lamp or fuel canisters on hot (over 104°F) sandy beaches, river rocks, metal surfaces, or cement.
[Reason]
Beach sand, river rocks, metal surfaces and cement in direct sunlight can reach extremely high temperatures. Placing a fuel canister on such surfaces or lighting a lamp on top of them may result in internal pressure building up. This may lead to abnormal combustion or explosion.



- Before connecting the fuel canister, make sure to turn the flame control valve clockwise until completely shut.
[Reason]
There are times when the flame control valve opens while in storage.

- Connect the fuel canister while the canister is standing in an upright position.
[Reason]
New fuel canisters are filled with liquid gas to the brim. If the canister is connected while at an angle, there is a chance that liquid gas may escape, causing danger. Make sure that there is nothing that can ignite nearby and stand canister upright to connect. The connection screw to the fuel canister is very important. Gas may leak if it is not screwed on straight.

New fuel canisters are filled with liquid gas to the brim. If the canister is connected while at an angle, there is a chance that liquid gas may escape, causing danger. Make sure that there is nothing that can ignite nearby and stand canister upright to connect. The connection screw to the fuel canister is very important. Gas may leak if it is not screwed on straight.

- Check the fuel canister joint O ring (interchangeable) each time before using. If there is any damage or wear, stop use and contact dealer or Snow Peak customer service.
[Reason]
The O ring will naturally deteriorate after repeatedly being put on and taken off from the canister. Even if it was not in use, the O ring will deteriorate. Using a damaged O ring will lead to gas leaking.

The O ring will naturally deteriorate after repeatedly being put on and taken off from the canister. Even if it was not in use, the O ring will deteriorate. Using a damaged O ring will lead to gas leaking.

- Keep combustible items no less than 3.5 feet above the lamp and 1 feet around.
[Reason]
Depending on the wind the flame may flow sideways or downward. Since the heat will travel upward fairly strongly, keep a good amount of combustible free space above and around.

Depending on the wind the flame may flow sideways or downward. Since the heat will travel upward fairly strongly, keep a good amount of combustible free space above and around.

- Place in area that is level for use.
[Reason]
If lamp is used on an incline or in a position that is precarious, the unit may tip over and cause burns or fire.

- Use only for lighting
[Reason]
Using the lamp for heat, to dry off clothes, or any other activity that is not lighting may lead to unintended accidents like fires, burns, or asphyxiation.

Using the lamp for heat, to dry off clothes, or any other activity that is not lighting may lead to unintended accidents like fires, burns, or asphyxiation.

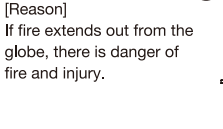
- Since there is danger of explosion, dispose of fuel canisters after they are completely empty and separate from other trash. Also, when not using the lamp for long periods of time, remove the fuel canister from lamp. Place lamp in storage case and place cap on fuel canister connector before storing.
[Reason]
Gas leaking may occur and there is danger of combustion, fire, or abnormal stove function.

Gas leaking may occur and there is danger of combustion, fire, or abnormal stove function.

- Even if the fuel canister is empty, do not place near a heat source.
[Reason]
Even if the fuel canister is empty, there is a minute amount of gas left over. The pressure from the heat could build up and the canister could explode if left near a heat source.

Even if the fuel canister is empty, there is a minute amount of gas left over. The pressure from the heat could build up and the canister could explode if left near a heat source.

- Make sure that a fire is always within the globe.
[Reason]
If fire extends out from the globe, there is danger of fire and injury.



- When in use, do not stray from the lamp or leave out of sight.
[Reason]
When this product is in use, there is a risk of fire spreading or the flame going out while the gas is on, which may cause unexpected accidents. Always keep an eye on the product, also check to ensure the fire is not extinguished. Please extinguish the fire when you leave or go to bed. Even if you're only stepping away for a short time, be sure to extinguish the fire.

When this product is in use, there is a risk of fire spreading or the flame going out while the gas is on, which may cause unexpected accidents. Always keep an eye on the product, also check to ensure the fire is not extinguished. Please extinguish the fire when you leave or go to bed. Even if you're only stepping away for a short time, be sure to extinguish the fire.

- When lightning, do not have hands and body above the lamp or look into the burner head.
[Reason]
There is a danger of an unexpectedly large flame which could cause burns.

- Do not have an undesignated wind guard or stones surrounding the lamp.
[Reason]
Having an undesignated wind guard surrounding the lamp may heat up the unit. When combined with wind guard may create excessive heat, leading to a danger of explosion.

Having an undesignated wind guard surrounding the lamp may heat up the unit. When combined with wind guard may create excessive heat, leading to a danger of explosion.

- Do not light lamp in a place where there are other sources of heat, such as near a heater or a bonfire
[Reason]
The other heat may heat up the fuel canister and pressure will build, leading to danger of explosion.

The other heat may heat up the fuel canister and pressure will build, leading to danger of explosion.

- Do not tip, shake, or carry while the unit is on.
[Reason]
There is a danger of burns from the wind fanning the flame in a different directions or the flame suddenly becoming bigger.

There is a danger of burns from the wind fanning the flame in a different directions or the flame suddenly becoming bigger.

- Store in an area that is away from children.
[Reason]
Store lamp and fuel canisters in an area that is out of reach of children. This way they cannot put themselves in danger.

Store lamp and fuel canisters in an area that is out of reach of children. This way they cannot put themselves in danger.

- Do not drop or impact unit in any other way.
[Reason]
This may alter the shape or damage the unit and can be cause for malfunction.

This may alter the shape or damage the unit and can be cause for malfunction.

- Do not look at the light directly.
[Reason]
It may damage your eyes.

Precaution

- Inspect the fuel canister before every use.
[Reason]
Inspect fuel canister when in storage as well. There is gas in the canister and any scratch, dent, or rust may result in gas leaking. Do not use if you see these imperfections.

Inspect fuel canister when in storage as well. There is gas in the canister and any scratch, dent, or rust may result in gas leaking. Do not use if you see these imperfections.

- Inspect, clean and put the lamp into the storage case after you are done using it.
[Reason]
Any liquid, dust, or other particles which may have fallen on the lamp can be the cause of a clogged burner hole or rust. This can lead to malfunctions the next time you use it. In order to avoid this, inspect and clean after every use.

Any liquid, dust, or other particles which may have fallen on the lamp can be the cause of a clogged burner hole or rust. This can lead to malfunctions the next time you use it. In order to avoid this, inspect and clean after every use.

- Fuel canisters cannot be taken onto airplanes.
[Reason]
Due to air travel laws, fuel canisters cannot be taken onto airplanes.

Due to air travel laws, fuel canisters cannot be taken onto airplanes.

- The lamp and parts near the flame will be extremely hot during use and immediately after use.
[Reason]
You need to take care of not to burn yourself

- When installing and removing canisters, there will be some gas that escapes. Do not install or remove the canister in an area that has open flame or is poorly ventilated, as there is a chance of fire.
- If you force the fuel canister on or off, the connection piece will break